119 消防だより

☎83-2119

8月の広報テーマ
『火遊びによる火災の防止』

子どもの火遊びを防ぎましょう

子どもは、成長とともに、大人がすることに関心を示し、まねをして遊ぶようになります。

子どもの火遊びによる火災は、大人がいないときや人目につきにくい場所で発生することが多く、また子どもは叱られると思い、なんとか消そうと消火を試みたり、恐怖でその場から動けなくなってしまうこともあるため、火災の発見が遅れ、消火が困難となり、子どもが逃げ遅れて命を落とすという悲惨な火災が発生しています。

最近では子どもが簡単に着火できないよう、ライターなどが改良されておりますが、道具の進化だけでは安心できません。

大切なのは、保護者や周囲の大人が子どもたちへ火の恐ろしさを教え、火遊びは絶対にしてはいけないことだと繰り返し教えることです。また、恐ろしさだけではなく、普段の生活に欠かせない火の役割や大切さなども教えていく必要もあります。

豊浦消防団（7月1日現在）

消防団本部	9名
第1分団（本町地区）	35名
第2分団（大岸地区）	15名
第3分団（礼文華地区）	20名
定員85名	計79名

食中毒には気を付けましょう

毎年この時期になると、食中毒などで病院に運ばれる方が多くみられます。基本的な食中毒の予防方法を実践し、楽しい夏を過ごしましょう。

～食べるときに気を付けること～

・食べる前には必ず手を洗う
・食器は清潔なものを使用する
・高温の場所に長時間放置したものを食べない
・少しでもおかしいと思ったら絶対に口にせず捨てる

新入団員のお知らせ

団員
後藤（ごとう）　慶宏（よしひろ）

6月 豊浦町火災・救急発生件数

●火災件数　1件（累計　3件）
●救急件数 21件（累計101件）

ご自宅の住宅用火災警報器の電池は大丈夫ですか？

住宅用火災警報器（以後、「住警器」という）の電池は、10年を目安に交換するよう推奨されています。

新築住宅は、平成18年6月1日から、既存住宅については平成23年6月1日から住警器の設置が義務付けられました。

設置が早かった住宅では、すでに10年を経過した住警器がでてきており、今後電池切れをおこした住警器の増加が懸念されています。

住警器のなかには、電池交換できるタイプとできないタイプがあり、電池交換についての対応をまとめましたので、参考にしてください。

【電池交換できるタイプ】

・9Ｖ角形アルカリ乾電池
（電池寿命2年タイプ）
スーパーや家電量販店で購入可能。

・リチウム電池（電池寿命10年タイプ）
専用リチウム電池のものがほとんどで基本的に、市販されていないため、後述するように本体ごと交換する方がおすすめです。

【電池交換できないタイプ】

本体ごと交換すること。

ご不明な点やご自宅の住警器が心配な方は豊浦消防（☎83-2119）までお問い合わせください。